

海外で資格を取得された皆様へ

一般社団法人日本 MBTI 協会

謹啓 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

MBTI のマテリアルの出版社 JPP 株式会社より連絡を受けまして、日本 MBTI 協会より連絡申し上げます。

近年、米国 CPP 社では、各国ごとに資格認定基準を定めるべきという考えを打ち出しており、日本でも 2009 年の夏から、海外で資格を取得された有資格者の方でも、日本人へフィードバックをされる方はみな、受検者の利益を最優先する MBTI の性質上人の心を扱う専門家として、そして、認定ユーザーにとって母国語での訓練は必須との考えのもと、再度、日本の講座を受講されるようになっております。また、日本の講座を受講された方々は、実際に体験を通して、日本人へのフィードバックがいかに困難であるか、また、海外の講座と内容が違うかを学ばれています。日本においては、MBTI のフィードバックに最低でも 2 時間は充てることが義務づけられており、2 時間未満のフィードバックは倫理違反となることは CPP 社に承認されています。

このような状況をふまえ、日本語で日本人にフィードバックされる場合は、特性論がベースの日本の文化や日本語の特異な言い回し、日本人の心性などを考慮する必要性があるので、海外の MBTI トレーニング機関にて資格を取得された方は、再受講は必須ではないものの、専門家として必要なフィードバックのためのスーパービジョンを受けるのが望ましいと考えられています（日本の MBTI のエキスパートによるスーパービジョンの枠組みを利用されることをお奨めいたします）。また、日本のトレーニング講座の受講ご希望の場合は、試験は免除、かつ、割引料金で受講していただけるようになっております。

現在日本では、トレーニング講座は 5 日間コースとして開催されております。下記ホームページに日程を記載しておりますので、ご確認ください。

一般社団法人日本 MBTI 協会ホームページ <http://www.mbti.or.jp/>

また、万が一再受講がむずかしい場合は、日本人に対して適切なフィードバックを行えるよう、日本の MBTI のエキスパートによる個別のスーパービジョン（窓口：PDS 総合研究所）または、日本 MBTI 協会が月に 1 回程度開講している「ベーシックフィードバックセッション」（ともに有料）を受講され、日本語でのフィードバックのしかたを学んでいただきます。簡単ですが、以上、日本での MBTI につきましての情報をお届けいたしますので、専門家としてのご判断をさせていただければと存じます。

なお、学歴による MBTI マテリアルの購入の資格は、日本では適用されませんのでご注意ください。

ご不明な点は、ご遠慮なくお問い合わせいただけますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。